

## 第776回: 急逝李克強

今や世界第2の経済大国となった中国。その高度成長に大きな貢献のあった李克強前首相が亡くなった。国営新華社通信は第一報として、以下のように報じている。そのまま読めるので翻訳は割愛する。

新華社北京 10月27日電 中国共産党第十七届、十八届、十九届中央政治局常委、国务院原総理李克強同志、近日在上海休息、2023年10月26日因突発心臓病、經全力搶救無効、于10月27日0時10分在上海逝世、享年68歳。(訃告後発)

正式な「訃告」は長々と「中国共産党中央委員会、中華人民共和国全国人民代表大会常務委員会、中華人民共和国国务院、中国人民政治協商会議全国委員会沈痛宣告: 中国共産党的優秀党員、久經考驗的忠誠的共產主義戰士、傑出的無産階級革命家、政治家、党和国家の卓越領導人。李克強同志」と続き、故人のステイタスによって、「偉大なマルクス主義者」、「偉大なプロレタリア革命家」、「傑出したプロレタリア革命家」、「プロレタリア革命家」などに分類/区別される。そのアナウンスは本日中に発表され、彼はおそらく「傑出したプロレタリア革命家」と評価されるだろう。

それはさておき、このニュースのポイントは、①上海で休養中に、②突然の心臓発作に見舞われ死亡したということだ。習近平指導部が外相や国防相失脚などで揺れに揺れているさなかの椿事。何もこんな時にと慨嘆する指導者は多いことだろう。

李克強は今年3月に開催された全人代(=国会)で、二期10年つとめた首相(国务院総理)を任期満了で辞任した。これで彼は全ての公職から退き、一党員として Goodbye tension, hello pension の悠々自適の生活を始めた矢先のことであった。

李克強の最近の動静と云えば8月31日、「X」(旧ツイッター)に彼が敦煌(甘肅省)莫高窟(ばっこうくつ)を見学する様子を紹介する動画が投稿され、これが首相を退任して以来、初の(そして結果的には最期の)公の場への登場となってしまった。「X」で紹介された動画では、李克強は石窟外壁のやや高い通路を歩き、マスクも着用せず元気一杯の様子で、彼に気付いた多くの観光客からの「総理、你好」の呼びかけに応え、笑顔で手を振って対応していた。李克強は安徽省定遠県出身だが、直近の中国共産党大会(22年10月)では「甘肅省代表」として参加した経緯があり、そんなわけで引退後の訪問先を甘肅省と定め、海外メディアなどで報道されることも予期しての「活動」であったようだ。

8月下旬の中国といえば、秦剛外相が「電撃解任」されたり、戦略ミサイル部隊を率いるロケット軍のトップ2人が解任されたりするなど、ショッキングな政治問題が噴出し始めた時期であり、突然の「李克強出現」に政治的意味が有りや無しやと海外メディアは報道したものであった。

さてその李克強だが、李克強と云えばすぐに思い浮かぶのが中国共産党の青年組織、共産主義青年団(共青团)の出自。共青团トップ(中央書記処第一書記)は、これまで胡耀邦、胡啓立、王兆国、胡錦濤など数多くの指導者を輩出してきた保守本流のエリートコースである。

だから02年に発足し、10年間続くと見られてきた胡錦濤党総書記(兼国家主席)の後継者に関して、当時多くの人々は、胡錦濤と同じ「共青团書記」経由の出世コースを辿り、同氏と極めて親密な関係の李克強が大本命だと確信していた。

だが、これまで中国を指導してきた共青团系のエリートは(胡錦濤や李克強のように)立派な人柄の人物

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

が多く、清華大学、北京大学などの名門大学を首席で卒業し、政治的な規律を重んじ、清廉潔白、紅灯の巷には決して立ち寄らない…極めて品行方正で切れ者だが、ややクール、庶民から見れば「近寄りづらい」人物が多かったようだ。

李克強は共青团出身の典型的なエリートで、文化大革命後に初めて実施された全国統一試験で北京大学にトップ入学、法学士に加えて経済学博士まで修了した秀才だ。

もっとも、習近平主席も清華大学化学工部卒で(なぜか)法学博士だが、彼は文革の混乱期の無試験入学組、博士論文も誰かに書かせたものらしいから、李克強とは比較にならない。

そんな習近平がなぜ天下の秀才を凌駕して天下を取ることができたのか？

参考になりそうな事件が 20 世紀末の日本にもあった。当時の自民党がリクルート事件などのトラブルに巻き込まれ、新首相の選出で党内が揉めたとき、小沢一郎衆院議員が「担ぐ神輿は、軽くてパーがいい」と言い放ち、(まことに失礼なハナシだが)当時の衆院議員の海部俊樹氏を首相に担ぎ上げたことがあったと云われている。

中国の共産党員もポスト胡錦濤を睨み、同じようなことを考え、07 年の共産党大会において、その 5 年後に選出される後継者の有力候補が、「共青团派の李克強」と「紅二代派(太子党)の習近平」に絞られた時、共青团派の影響力が更に強化されることを警戒した(胡錦濤の前任者)江沢民元主席が、人気投票に似た「党内予備選挙」を提案し、その選挙の結果、人当たりが良く親分肌のようなイメージの習近平が李克強を凌駕したため、大勢が決したという経緯がある。

因みに李克強は共青团時代に来日して、小沢一郎氏の私邸に滞在したことがあるそう。

李克強のような最高指導部(=チャイナセブン)経験者は、引退後も、警備員 6 名、医者 1 名、看護師 1 名、運転手 2 名、秘書 2 名、コック 2 名、ざっとこれくらいが官舎に常駐すると云われている。胡錦濤や李克強を抜擢した宋平(元政治局常務委員)に至っては何と 106 歳で今でも存命中。同氏は昨年、公式の場に登場しており、党の長老たちが「長生きするのは当然だ」と云われている所以である。

10 数名の随員が同居するくらいだから、長老らの引退後の官舎がマンションなんぞのわけがなく、当然一戸建て、北京の四合院のような数百坪の豪邸が支給されるようだ。

それほど手厚いケアを受けている李克強が 70 歳に満たない年齢で急死し、運の悪いことに、中国の政治や経済が激動中のさなかに惹起した出来事であるが故に、李克強急逝が Top story として世界中で驚きをもって報道されているのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2023 年(令和 5 年)10 月 27 日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007 年より現職

著書 日本<sup>の</sup>常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。